

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年7月26日(2012.7.26)

【公開番号】特開2012-66143(P2012-66143A)

【公開日】平成24年4月5日(2012.4.5)

【年通号数】公開・登録公報2012-014

【出願番号】特願2012-3904(P2012-3904)

【国際特許分類】

A 6 1 J 3/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 J 3/00 3 1 4 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月8日(2012.6.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の貯留容器の各々から液体を調合容器に供給することにより調合容器内で複数種類の液体を調合する液体調合装置であって、

円周に沿って配列された複数の貯留容器を回転移動させる回転機構と、

調合容器を昇降する昇降機構と、

を有し、

前記回転機構は、前記回転移動により、複数の貯留容器のうちから選択された選択貯留容器を吐出が行われる位置まで移動させ、

前記昇降機構は、前記昇降により、調合容器を吐出が行われる高さまで移動させ、

これにより、前記回転機構による選択貯留容器の移動と前記昇降機構による調合容器の移動により吐出状態を形成して、選択貯留容器から調合容器へ液体を吐出する、

ことを特徴とする液体調合装置。

【請求項2】

請求項1に記載の液体調合装置において、

前記回転機構は、調合容器よりも上側で複数の貯留容器を回転移動させて選択貯留容器を吐出が行われる位置まで移動させ、

前記昇降機構は、吐出が行われる位置に配置された選択貯留容器よりも下側で調合容器を昇降させて吐出が行われる高さまで移動させる、

ことを特徴とする液体調合装置。

【請求項3】

請求項1または2に記載の液体調合装置において、

複数の貯留容器が共用する駆動部をさらに有し、

前記駆動部は、選択貯留容器との間において選択的に接続状態を形成して選択貯留容器から液体を吐出させる、

ことを特徴とする液体調合装置。

【請求項4】

請求項3に記載の液体調合装置において、

前記駆動部は、選択貯留容器内に気体を吐出して選択貯留容器内の圧力を変化させることにより選択貯留容器から液体を吐出させる、

ことを特徴とする液体調合装置。

【請求項 5】

請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の液体調合装置において、

前記選択貯留容器から前記調合容器に向かって移動する液体を検知するセンサをさらに有し、

前記センサは、照射した光の透過量に基づいて液体の有無を検知する、

ことを特徴とする液体調合装置。